

分野：自然への愛着

(三つ又沼ビオトープ沼の生き物調査と自然観察)

環境アドバイザー

荒木 三郎

対象 上尾市立富士見小学校他3校(25人)

所要時間  2時間

場所 三つ又沼ビオトープ

実施時期 令和3年12月5日

概要

- ・三つ又沼ビオトープ、荒川の草花を育てようプロジェクトに参加している4校環境委員会活動を行っている、5、6年生と家族が参加し学校の交流を兼ねる。
- ・環境委員会で育てた荒川の植物がどんな場所で、育てているか家族で確認。
- ・荒川の自然を守る会と協力し沼の生き物を採取し観察します。

プログラムの
ねらい

- ・4校合同の子供たちと家族の沼の生き物調査と自然観察交流会
- ・荒川の草花を育てようプロジェクトで、自分たちが育てている場所を家族に見ていただき、沼にはどんな生き物がいるか、お楽しみです。
- ・自分たちの委員会活動を家族に知っていただくことができればいいな。

プログラムの内容

1 オリエンテーション(20分)

- ・4校の紹介 委員会活動の紹介
- ・調査スタッフの紹介・今日の作業の流れ
- ・危険動物の注意事項 (スズメバチ)

2 駐車場から沼までの自然観察(20分)

- ・哺乳類の足跡探し、フィールドサイン
タヌキ・イタチ・イノシシ・シカ・アライグマ
- ・越冬昆虫探し ゴマダラチョウの幼虫
ウラギンシジミ・クビキリギス・ツチイナゴ他

3 沼の生き物調査・観察(70分)

ギンブナ・モツゴ・ツチフキ・ドブガイ・メダカ
ヨシノボリ・テナガエビ・ブルーギル 他

4 質問タイム(10分)



受講者の反応

- ・4校合同で環境委員の交流会を行いながら観察会を行った。三つ又沼プロジェクトの仲間意識も深まり、学校から離れて他校と仲良くなれた。親たちも子どもの成長が見られたようです。また動植物の観察を通じて家族間の交流を深めていました。
- ・子供たちは植物より、冬でも生きた昆虫(チョウ・バッタ)や沼の魚やドブガイの重いのにビックリしていました。
- ・次回は夏休み期間に、夏の自然観察ができれば参加したいとの要望がありました。

三つ又沼の生き物調査と観察

